

刈谷市施策評価シート(①基本施策推進状況)

基本施策	17 循環型社会・環境保全		
	施策の内容(小施策)	担当課	関係課
171	循環型社会・環境保全意識の高揚	環境	ごみ
172	ごみの減量化	ごみ	環境
173	ごみ・し尿の適正な処理	ごみ	
174	公害の防止	環境	

施策責任者
産業環境部長
とりまとめ課
環境推進課

目標指標達成状況						
めざす姿(生活像)が下記のどの目標指標と関連しているか表示しています						
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
まちの状態	△					
市民の暮らし	△		●	△		

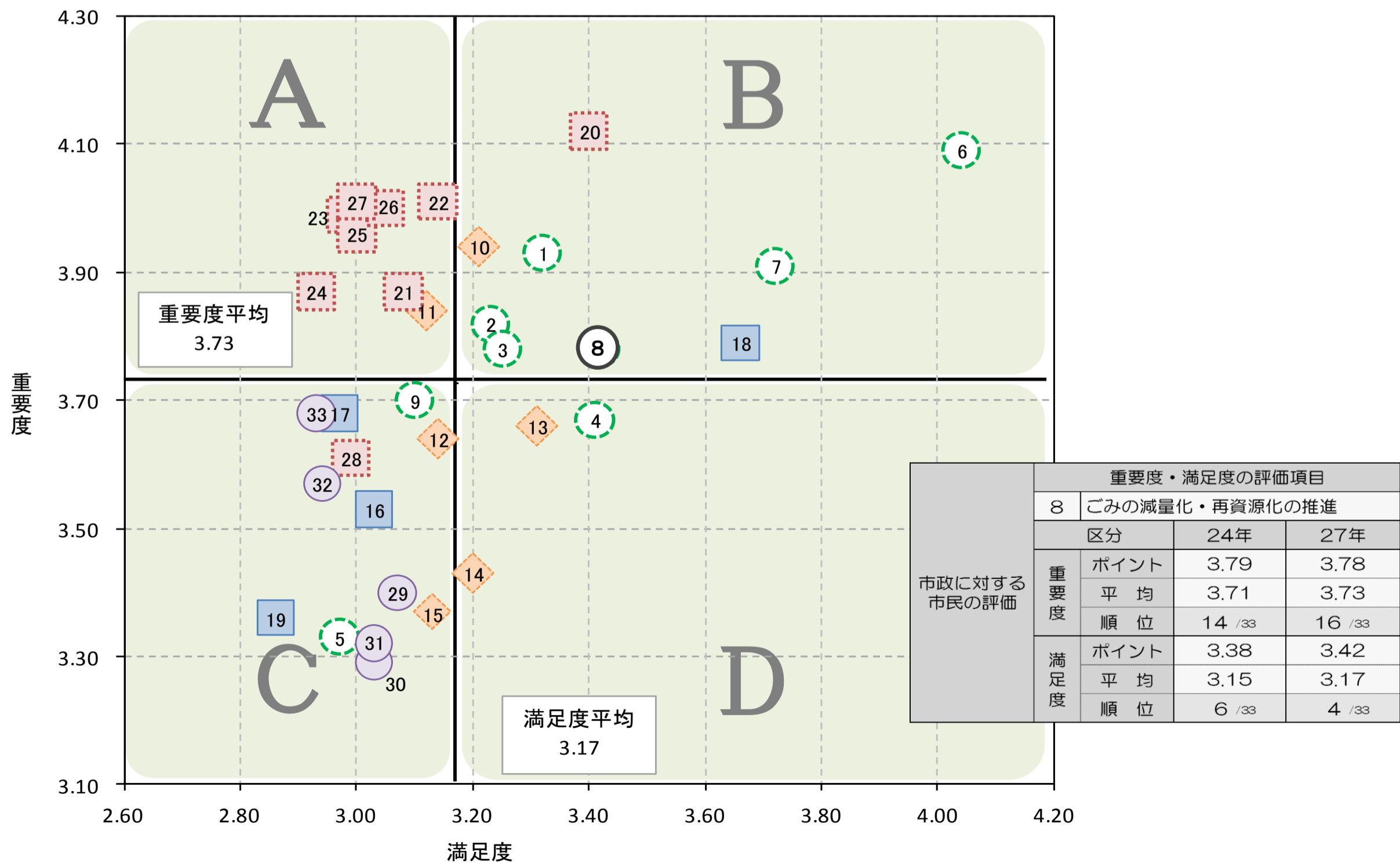
めざす姿 (生活像)						
まちの状態	分別収集が徹底され、ごみの資源化が進んでいます。	△				
	公害の発生件数が減少し、生活環境が良好に保たれています。		●			
市民の暮らし	市民、事業者、行政が、環境への負荷の少ない行動を実践しています。	△		●	△	
	ごみの3Rに取り組む市民や事業者が増え、ごみの排出量が減少しています。			●	△	

●目標指標

達成状況	名称	単位	実績値			目標値	
			25年	26年	27年	27年	32年
〔1〕 △	リサイクル率	%	20.1	18.6	18.6	35	40
	関連する施策の内容(小施策)						
〔2〕 ●	公害苦情発生件数	件	97	95	91	50	40
	関連する施策の内容(小施策)						
〔3〕 ●	1人1日当たりのごみ排出量	g/人・日	956	948	942	440	390
	関連する施策の内容(小施策)						
〔4〕 △	事業系ごみの年間排出量	t	14,997	15,393	15,900	14,000	12,000
	関連する施策の内容(小施策)						
〔5〕	関連する施策の内容(小施策)						
〔6〕	関連する施策の内容(小施策)						

【注】 ◎…最終目標達成、○…中間目標達成、●…未達成だが上昇傾向、△…未達成で下降傾向

●市政に対する市民の評価



刈谷市施策評価シート(②小施策推進状況)

施策の内容(小施策)	171 循環型社会・環境保全意識の高揚				担当課	環境推進課
					関係課	ごみ減量推進課
事業費(千円)/(%)	26年度		27年度		28年度	
予算/基本施策内での割合	25,331	1.1%	23,810	1.1%	23,881	1.0%
決算/基本施策内での割合	13,573	0.6%	11,058	0.5%	—	—

●目標指標

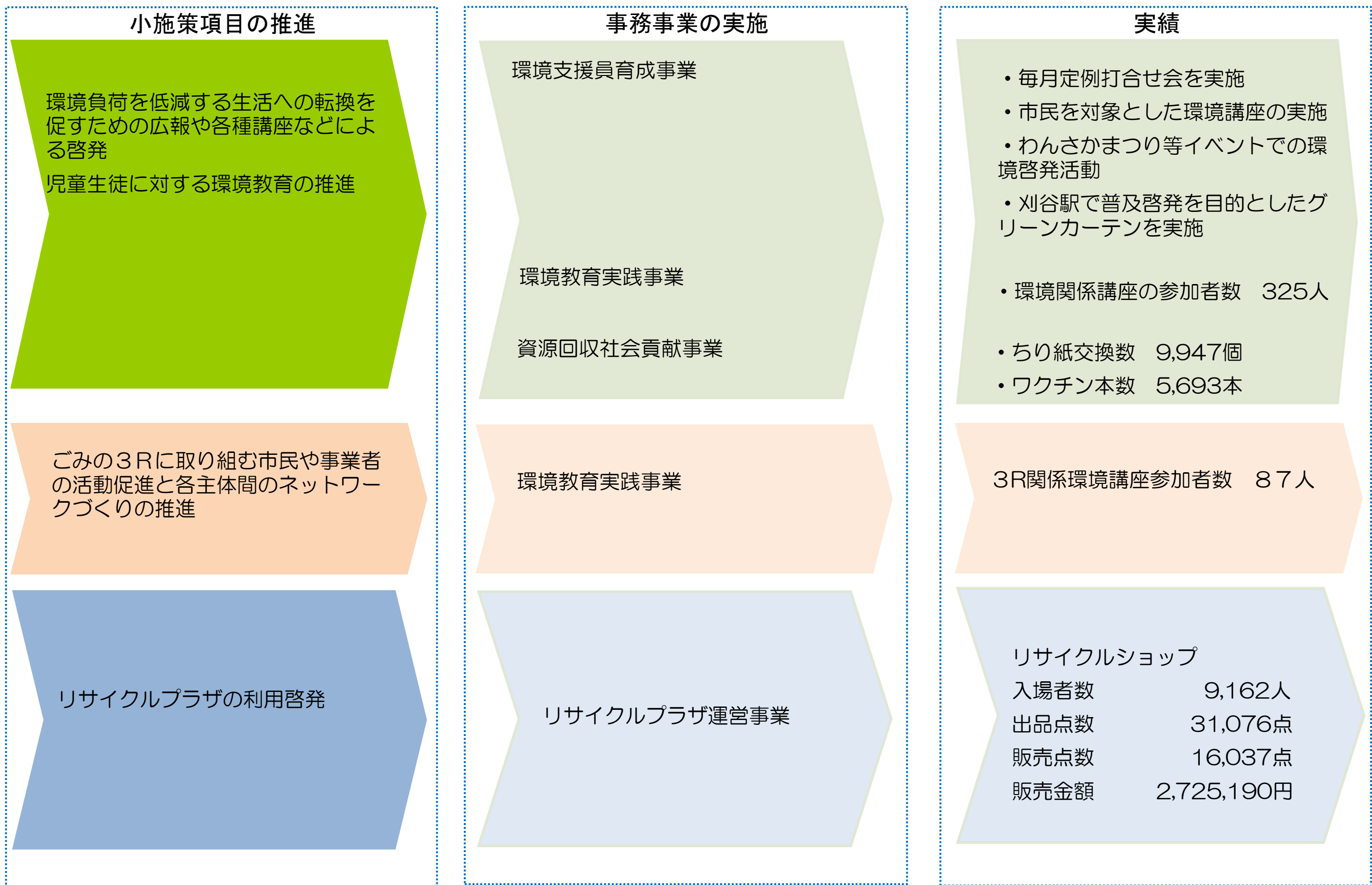
	現状分析	名称	単位	実績値			目標値	
				25年	26年	27年	32年	
(1)	○	活動	環境支援員育成講座の修了者(累計)	人	46	—	—	80
(2)	○	活動	環境支援員が講師を務める講座等の開催	回	5	5	5	5
(3)	△	活動	ペットボトルキャップ回収量	kg	13,921	12,705	11,387	16,000
(4)	△	活動	リサイクルショップ入場者数	人	12,533	10,690	9,162	10,000

【注】 ○…上昇傾向、○…横ばい、△…下降傾向

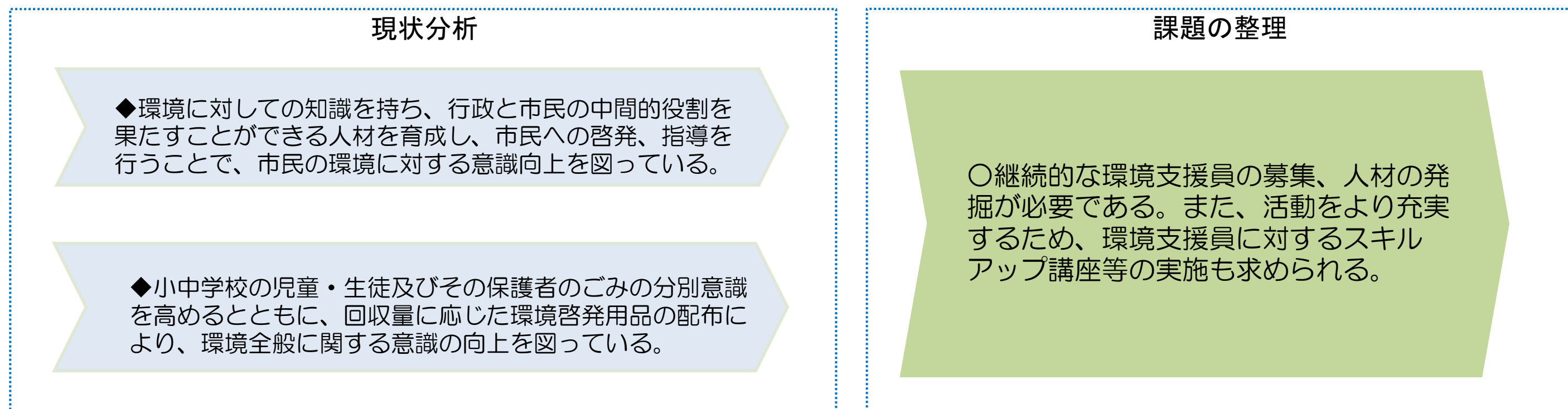
●他市町村との比較検証

比較項目	エコキャップ運動に参加している小中学校の割合						単位	%	
刈谷市	岡崎市	安城市	西尾市	知立市	碧南市	高浜市			
100	28	97	85	80	75	14			
備考	出典：フジイ化工㈱HP(平成27年度以降回収実績のある学校)								

成果



現状分析と課題



刈谷市施策評価シート(②小施策推進状況)

施策の内容(小施策)	172 ごみの減量化	担当課	ごみ減量推進課
		関係課	環境推進課

事業費(千円)/(%)	26年度		27年度		28年度	
予算/基本施策内での割合	36,010	1.6%	32,929	1.5%	32,694	1.3%
決算/基本施策内での割合	33,015	1.5%	28,314	1.3%	—	—

●目標指標

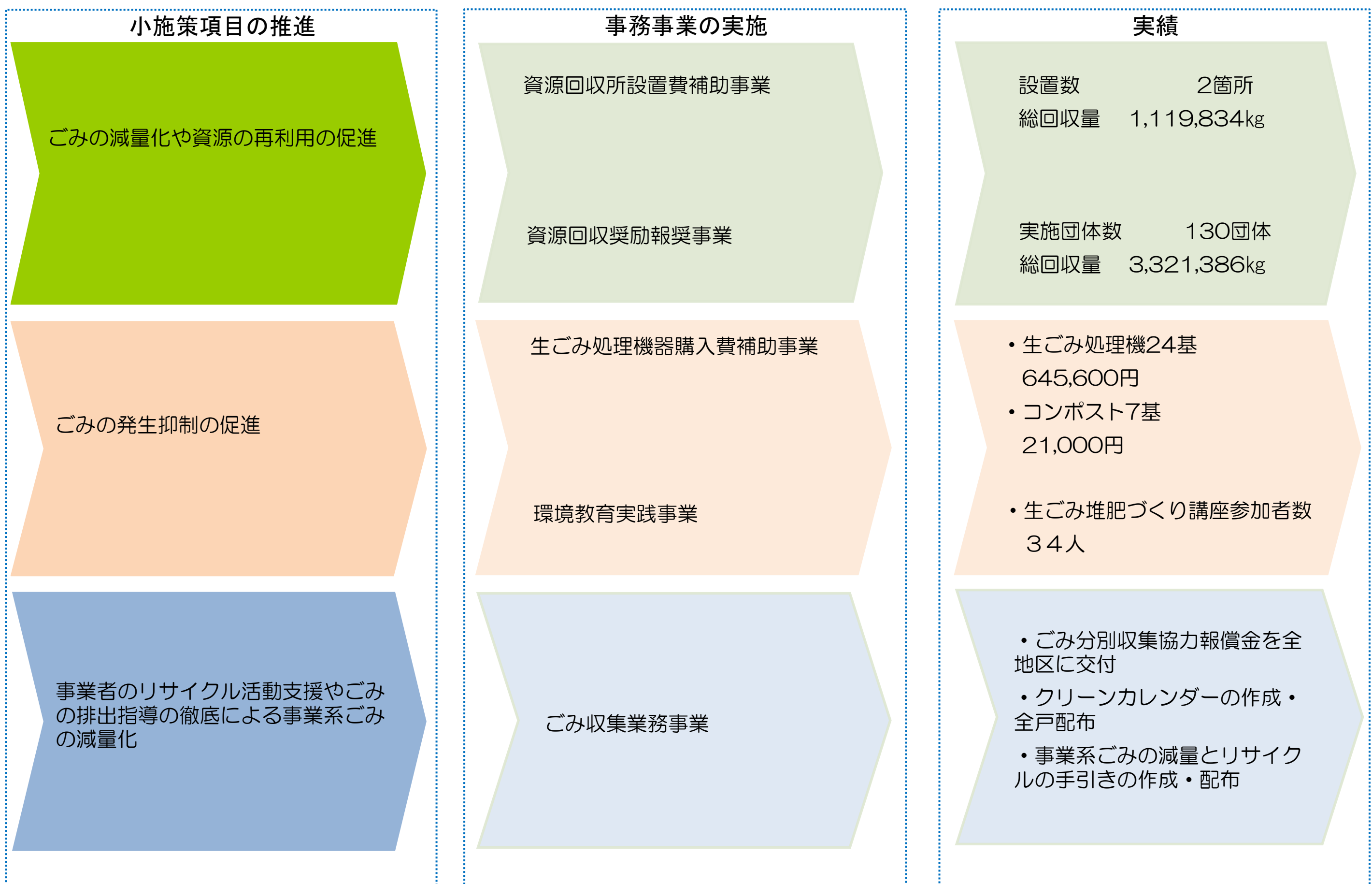
現状分析	名称	単位	実績値			目標値
			25年	26年	27年	32年
(1) ○	活動 集団回収による資源回収量	t	3,432	3,471	3,321	3,600
(2) ○	活動 資源回収所設置補助件数	件	1	4	2	2
(3) △	活動 生ごみ処理機・コンポスト補助件数	件	83	57	31	85
(4) △	成果 リサイクル率	%	20.1	18.6	18.6	40

【注】 ◎…上昇傾向、○…横ばい、△…下降傾向

●他市町村との比較検証

比較項目	リサイクル率					単位	%
刈谷市	碧南市	安城市	西尾市	知立市	高浜市		—
18.6	19.8	23.3	13.7	16.5	15.4		
備考	出典：環境省一般廃棄物処理実態調査結果(平成26年度調査結果)						

成果



現状分析と課題

現状分析

- ◆常設の資源回収所の設置に伴い、地区の資源回収量が増加し、ごみの減量化と資源の再利用を促進することができている。
- ◆生ごみ処理機器購入を促すことにより、機器を購入した各家庭のごみ減量化を図ることができている。

課題の整理

○地域の資源ごみの回収量は増加傾向であるが、各家庭における生ごみの減量化に寄与する生ごみ処理機等補助制度の利用促進を図る必要がある。

施策の内容(小施策)	173 ごみ・し尿の適正な処理	担当課	ごみ減量推進課
		関係課	

事業費(千円)/(%)	26年度		27年度		28年度	
予算/基本施策内での割合	2,140,312	96.6%	2,194,017	96.9%	2,419,214	97.2%
決算/基本施策内での割合	2,104,188	97.4%	2,148,442	97.7%	—	—

●目標指標

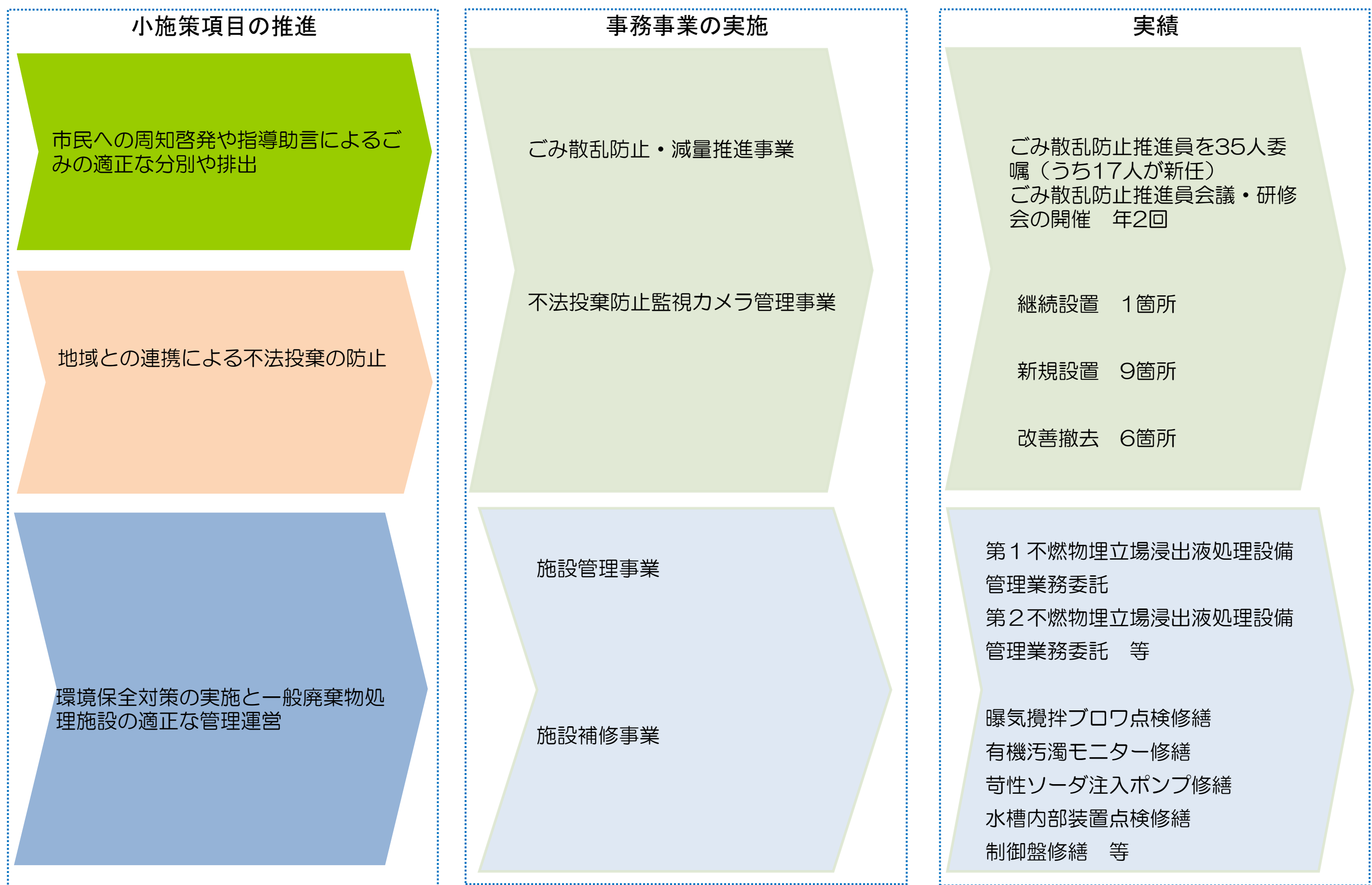
	現状分析	名称	単位	実績値			目標値	
				25年	26年	27年	32年	
(1)	△	活動	ごみ散乱・不法投棄に関する苦情件数	件	100	65	79	50
(2)	○	活動	監視カメラ設置による不法投棄等改善撤去箇所数	箇所	7	6	6	7
(3)	△	活動	ごみ指定袋販売数合計	枚	11,966,000	9,719,000	10,177,500	9,870,000
(4)	◎	活動	不燃ごみ分別量(埋立ごみ以外のもの)	t	616	608	500	555

【注】 ◎…上昇傾向、○…横ばい、△…下降傾向

●他市町村との比較検証

比較項目						単位	%
刈谷市	碧南市	安城市	西尾市	知立市	高浜市		—
備考							

成果



現状分析と課題

現状分析

◆ごみ散乱防止推進員が地域と行政とのパイプ役となりながら、各地区における啓発指導や清掃活動及び不法投棄防止に積極的に取り組み、環境美化の推進が図られている。

◆不燃物理立場浸出液処理施設の計画的な修繕を実施し、機器及び設備修繕により施設の処理能力の維持に努めている。

課題の整理

○継続的な不法投棄の防止、抑制を図る必要がある。
○不燃物理立場の適正な管理、省エネ化に努め、更なる延命に努めていく必要がある。

刈谷市施策評価シート(②小施策推進状況)

施策の内容(小施策)	174 公害の防止	担当課	環境推進課
		関係課	

事業費(千円)/(%)	26年度		27年度		28年度	
予算/基本施策内での割合	14,241	0.6%	13,687	0.6%	12,895	0.5%
決算/基本施策内での割合	10,610	0.5%	10,094	0.5%	—	—

●目標指標

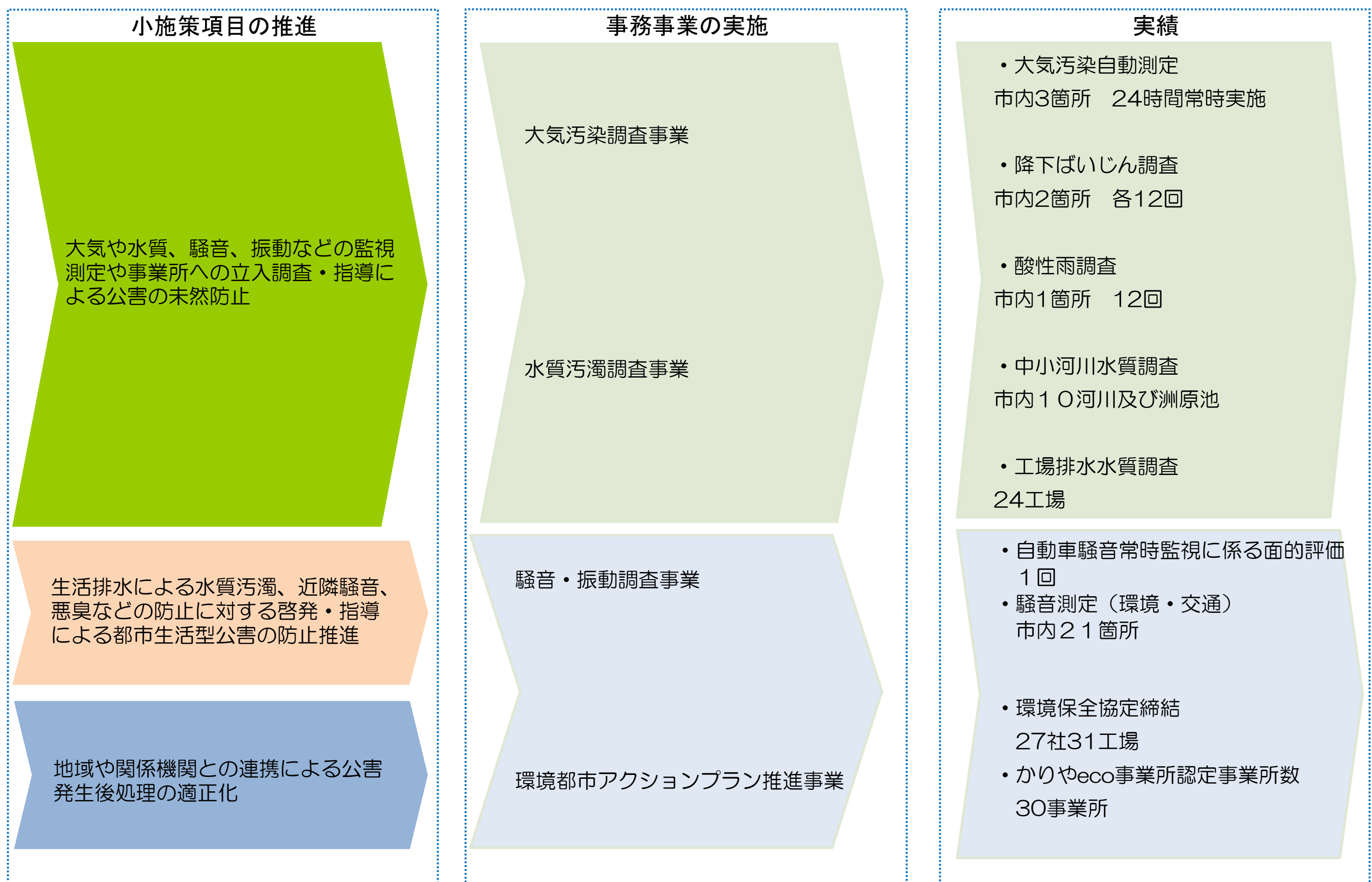
	現状分析	名称	単位	実績値			目標値	
				25年	26年	27年	32年	
(1)	○	活動	工場排水水質検査回数	回	24	24	24	24
(2)	◎	活動	かりやeco事業所認定事業所数	事業所	—	—	30	50
(3)	◎	活動	騒音測定(交通・環境)箇所数	箇所	12	12	21	21
(4)								

【注】 ◎…上昇傾向、○…横ばい、△…下降傾向

●他市町村との比較検証

比較項目	典型7公害による苦情件数					単位	件
刈谷市	碧南市	安城市	豊田市	知立市	—	—	—
91	84	182	240	30	—	—	—
備考	出典：各市環境報告書(平成27年度)						

成果



現状分析と課題

現状分析

◆大気、水質、騒音、振動などの監視測定を実施し、蓄積されたデータの経年比較により、状況を把握することができている。

◆事業所への立入り、指導、環境保全意識の普及啓発により公害の未然防止に努めている。

課題の整理

○水質に関して、市内を流れる河川において改善傾向が見られるが、まだ汚濁度の高い河川もあるため、より一層の生活排水対策を図る必要がある。

現状分析と課題

現状分析

◆環境に対する知識を持ち、行政と市民の中間的役割を果たすことができる人材を育成し、市民への啓発、指導を行うことで、市民の環境に対する意識向上を図っている。

◆常設の資源回収所の設置に伴い、地区の資源回収量が増加し、ごみの減量化と資源の再利用を促進することができている。

◆ごみ散乱防止推進員が地域と行政とのパイプ役となりながら、各地区における啓発指導や清掃活動及び不法投棄防止に積極的に取り組み環境美化の推進が図られている。

◆大気、水質、騒音、振動などの監視測定を実施し、蓄積されたデータの経年比較により、状況を把握することができている。

課題の整理

○リサイクル率について目標達成が困難な状況であるため、さらなる分別収集、ごみの資源化を推進する必要がある。

○都市化の進展や環境に対する意識の高まり等から新しい種類の公害問題が発生してきており、これまでの対策の継続とともに新たな公害への対応も進める必要がある。

今後の方向性

循環型社会・
環境保全意識

◆エコライフ、地球環境保全意識の高揚等の意識啓発

ごみの減量化

◆ごみの分別収集の徹底とともに新たに資源化要素の掘起

ごみ・し尿の
適正な処理

◆将来人口等を踏まえた適正な処理体制の構築

公害の防止

◆地域や関係機関との連携を強化とともに公害発生の未然防止に向けた啓発活動を推進

基本施策	17 循環型社会・環境保全		
施策の内容(小施策)		担当課	関係課
171	循環型社会・環境保全意識の高揚	環境	ごみ
172	ごみの減量化	ごみ	環境
173	ごみ・し尿の適正な処理	ごみ	
174	公害の防止	環境	

凡例		予算対応の考え方			
		無	縮小	維持	拡充
今後の方向性	拡充		V	II	I
	現状維持		VI	III	
	改善・効率化		VII	IV	
	縮小		VIII		
	終期設定		IX		
	休止・廃止	X			

●構成する主な事務事業

171		循環型社会・環境保全意識の高揚		事業費(単位:千円)			事務事業評価(27年度決算)				予算対応の考え方	担当課
事業No	事務事業名		26年度	27年度	28年度	必要性	効率性	妥当性	貢献度	今後の方向性		
			1	環境支援員育成事業	予算 207	187	479	高い	普通	普通	普通	拡充
		決算 47	67	—								
2	資源回収社会貢献事業	予算 2,450	2,649	2,646	高い	普通	高い	高い	現状維持	III	環境推進課	
		決算 2,441	2,591	—								
3	環境教育実践事業	予算 2,322	2,422	2,320	普通	普通	高い	高い	現状維持	III	環境推進課	
		決算 1,905	1,677	—								
4	リサイクルプラザ運営事業	予算 4,660	4,479	4,569	高い	高い	普通	高い	現状維持	III	ごみ減量推進課	
		決算 4,556	4,382	—								
備考												

172		ごみの減量化		事業費(単位:千円)			事務事業評価(27年度決算)				予算対応の考え方	担当課
事業No	事務事業名		26年度	27年度	28年度	必要性	効率性	妥当性	貢献度	今後の方向性		
			1	資源回収所設置費補助事業	予算 2,400	1,200	1,200	高い	普通	高い	高い	現状維持
		決算 2,129	964	—								
2	資源回収奨励報償事業	予算 25,000	25,000	25,000	普通	普通	高い	高い	現状維持	III	環境推進課	
		決算 23,360	22,301	—								
3	生ごみ処理機器購入費補助事業	予算 2,250	2,250	1,925	高い	普通	高い	普通	現状維持	III	環境推進課	
		決算 1,287	667	—								
4	ごみ収集業務事業	予算 349,646	356,848	380,454	高い	普通	高い	高い	現状維持	III	ごみ減量推進課	
		決算 344,759	346,739	—								
備考												

刈谷市施策評価シート(④構成する主な事務事業)

173		ごみ・し尿の適正な処理										
事業No	事務事業名	事業費(単位:千円)			事務事業評価(27年度決算)					予算対応の考え方	担当課	
		26年度	27年度	28年度	必要性	効率性	妥当性	貢献度	今後の方向性			
1	ごみ散乱防止・減量推進事業	予算	521	431	521	高い	高い	高い	高い	現状維持	Ⅲ	ごみ減量推進課
		決算	427	271	—							
2	不法投棄防止監視カメラ管理事業	予算	171	164	140	高い	高い	普通	普通	現状維持	Ⅲ	ごみ減量推進課
		決算	41	52	—							
3	施設管理事業	予算	34,420	34,798	34,848	高い	普通	高い	高い	現状維持	Ⅲ	ごみ減量推進課
		決算	34,156	30,731	—							
4	施設補修事業	予算	17,820	30,000	30,000	高い	普通	高い	高い	現状維持	Ⅲ	ごみ減量推進課
		決算	16,995	29,936	—							
備考												

174		公害の防止										
事業No	事務事業名	事業費(単位:千円)			事務事業評価(27年度決算)					予算対応の考え方	担当課	
		26年度	27年度	28年度	必要性	効率性	妥当性	貢献度	今後の方向性			
1	大気汚染調査事業	予算	8,106	7,621	12,895	普通	普通	普通	普通	改善・効率化	Ⅶ	環境推進課
		決算	7,658	6,914	—							
2	水質汚濁調査事業	予算	4,093	3,938	12,895	高い	普通	高い	普通	現状維持	Ⅲ	環境推進課
		決算	2,217	1,976	—							
3	騒音・振動調査事業	予算	972	1,109	12,895	高い	高い	高い	高い	現状維持	Ⅲ	環境推進課
		決算	562	881	—							
4	悪臭調査事業	予算	500	500	12,895	普通	普通	高い	普通	現状維持	Ⅲ	環境推進課
		決算	0	166	—							
備考	平成28年度より各事業の統合を行い事業を一本化											